

# 施策評価シート（平成30年度実績評価）

## ◎ 施策の基本情報

総合計画 中期 プラン	政策No.	1-4	政策名	観光の振興	政策の 目指す姿	国内外から多くの観光客を誘引し、賑わいを創出しています	施策 主管課	観光課	施策主管 課長名	高橋 徹
	施策No.	3	施策名	移動しやすい観光地	施策の 目指す姿	観光客がスムーズに移動しています	関係課名			
	現状と課題	・観光施設等の改廃や道路改良、路線変更に対応した適切な箇所への観光案内看板の設置が求められています。 ・市内の観光施設を巡る周遊バスは、広範囲に及ぶ観光資源を周遊するためのコース設定が求められています。								

## ◎ 前年度の評価の振り返り

### （前年度評価時の今後の方向性）

・観光協会をはじめ関連事業者とともに観光資源同様、二次交通の情報発信についても徹底し、運行主体への働きかけを行うとともに支援についても検討する。

### （反映状況）

・どんぐりとやまねこ号について、運行コースの見直しを図り、企画・実施者である花巻観光協会ホームページをわかりやすいデザインに変更するとともに、外国語版のチラシも作成し海外の旅行会社への周知を図った。

## 1 施策の目指す姿の実現に向けた主な取組

### ①観光案内表示の充実

○観光客にわかりやすい観光案内看板の新設、修繕、撤去  
 ・構造上危険な観光案内看板の撤去、必要箇所への新設、明瞭な表示への修繕

### ②観光施設間の移動手段の確保

○駅から温泉、観光施設間の二次交通の運行支援  
 ・花巻・台温泉方面、花巻南温泉峡方面の2系統の送迎バスの運行支援  
 ○利用者ニーズを反映した効率的な観光ルートの整備  
 ・市内観光施設を周遊する「どんぐりとやまねこ号」の運行支援  
 ○貸切バスツアーの運行支援  
 ・県外、海外からの市内に宿泊する団体貸切バスに対する支援

## 2 成果指標

成果指標名	成果指標設定の考え方 (なぜ、この指標で成果を測ることにしたのか)	成果指標の測定企画 (どのように実績を把握するのか)	単位	数値 区分	H26	H27	H28	H29	H30	R1
案内板表示に満足した観光客の割合	観光施設等目的地に迷うことなく到着することができたか、観光客ニーズとともに調査測定することとしたもの。	花巻市観光客満足度アンケートに「案内板表示に満足できたか」という設問を追加して調査する。	%	目標値	-	-	-	90.0	90.0	90.0
				実績値	-	-	-	87.0	87.0	
観光環状バス等の利用者数	二次交通となる宿泊施設と駅等を結ぶ送迎バスと主要観光施設を巡る周遊観光バスがどの程度利用されているかを示す指標として設定する。	事業主体からの実績報告 ・温泉郷宿泊施設等送迎バス ・主要観光施設周遊バス	万人	目標値	5.3	5.4	5.5	5.8	5.9	5.9
				実績値	5.9	5.8	5.4	5.5	5.5	

## 3 成果指標の達成状況

達成度	達成状況に関する背景・要因
B	<p>■成果指標「案内板表示に満足した観光客の割合」・・・【達成度b】                      観光客が迷うことなく目的地に到着するよう誘導することが目的である一方で、構造上危険な観光案内看板の撤去、修繕を優先せざるを得なかったこともあり、目標値を下回る結果となった。</p> <p>■成果指標「観光環状バス等の利用者数」・・・【達成度b】                      前年に比べて花巻温泉郷への観光客入込数・宿泊者数は減少したものの、花巻温泉郷宿泊施設送迎バスの利用者は微増しているが、どんぐりとやまねこ号は旅行会社等の取扱いが減ったことから、全体として目標値に届かなかった。</p>

#### 4 施策を構成する事務事業一覧

番号	事務事業名 事業内容(活動実績)	担当課	施策への貢献度		成果
			対象 直結度	意図	
1	観光案内板整備事業 観光案内板の撤去、新設(更新)、修繕 (構造上危険物件撤去 4基、更新 1基、修繕 8基 計13基 4,320千円)	観光課	一致	直結	B
			A		
2-1	観光ルート整備事業 花巻温泉郷共同送迎バス運行支援 (花巻・台温泉系、花巻南温泉峡系の2系統 利用者数 53,285人)	観光課	一致	直結	B
			A		
2-2	観光ルート整備事業 市内観光施設周遊「どんぐりとやまねこ号」運行支援 (運行日数 294日、利用者数 1,871人)	観光課	一致	直結	B
			A		
2-3	観光ルート整備事業 団体旅行貸切バスツアー運行支援 (支援台数 492台、利用者数 15,244人)	観光課	一致	直結	A
			A		

#### 5 施策を構成する事務事業の検証

(①市民ニーズや市の関与の必要性が低下した事業、②投入コストのわりに成果が低い事業、③施策への貢献度の低い事業はないか)  
・なし

(施策の目標を達成するため、さらに成果の向上を図る事業はないか)

・二次交通について、増加が期待できる外国人個人観光客の対応を含めた国内外へのわかりやすい情報発信、およびコース等の魅力向上を図る必要がある。

(新たに取り組むべき事業はないか)

・なし

#### 6 施策の総合的な評価

(課題)

・どんぐりとやまねこ号において、体験施設等の観光施設以外の立ち寄りなどコース等の魅力向上を図る必要があるが、一方で移動距離・時間、乗車料金等のバランスを図る必要がある。また、旅行会社の取扱いを回復させる必要がある。

(今後の方向性)

・観光客にとって二次交通は観光の重要な要素であることから、魅力的なコース設定、適正な利用料金を検討する。  
・二次交通全般について、増加が期待できる外国人個人観光客の対応を含め、国内外へのわかりやすい情報発信に努めるとともに、国内外旅行会社へのセールス強化を図る。